

## KAIKE・PRESS

#01  
2022/MAR

幸せはこぶマイバンク  
よなごしんきん  
おかげさまで100周年  
この街と 輝く未来へ

おかげさまで100周年  
この街と輝く未来へ  
100  
ANNIVERSARY  
YONAGO SHINKIN  
SINCE 1922

## 「資源を活かす」視点

2021年8月、皆生温泉エリアの魅力を高めるため、民間も行政も連携した組織「皆生温泉エリア経営実行委員会」が設立されました。皆生温泉「エリア」全体を「経営」的な視点で考える。そんな想いのこもった名前です。

まちづくりの分野では、実は10年以上前から「地域を経営する」という言葉が使われています。持続的に地域が発展するためには、伝統産業、自然資源、景観、歴史、生活文化など地域固有の資源を再評価し、向上させていかななくてはならない。

そんな「資源を活かす」視点で皆生温泉街を見つめ直し、未来へ投資していくことが「エリア経営実行委員会」の役割です。



まちの巨大模型を囲んで開催したワークショップ

特集

## エリア経営ってなんだ？



エリア経営実行委員会の主催で、皆生のこれからを自由に意見交換するワークショップも開催されました。全3回の開催でのべ150名以上が参加し、「屋台村があると良いね」や「テトラポッドのオブジェをつくったらインスタ映えしそう」など様々なアイデアが出てきました。皆生のまちについて意見を交わすワークショップはこれからも継続して開催される予定。次回の日時などは、KAIKE PRESSでもご案内します。

## 「居場所」をつくる

8月の設立から、毎月会議を重ねてきた実行委員会。歩いて楽しいまちにするべく、道路と建物の関係を考えたり、まちなかの空き地の情報を集めたり、駐車場のあり方を考えたり。

大事にしているのは、観光客だけでなく、地元の人にとっても、子どもにとっても、障がいのある人にとっても、居心地の良い「居場所」であること。

散歩をしても良いし、一人で夕日を眺めても良い。道端であいさつが交わされ、ばったりと知り合いに出会い、店先で立ち話をする。多様な人がそれぞれ居場所を見つけ、なんだか元気になる。さらには、皆生を歩いた少年が「将来こんな人になりたい!」と夢を持つような場所になる。そんなまちに皆生が変わる。

KAIKE PRESSは、皆生温泉のこれからを伝えるメディアとして、皆生の動き・変化を定期的にお届けしていきます。

イベント

「皆生温泉の未来を考えるシンポジウム」  
～ 起き始めた小さな変化～

参加申込フォーム

オンライン開催 「参加申込フォーム」よりお申し込みください。

日時/3/26(土) 13:00~15:00

主催/皆生温泉エリア経営実行委員会  
皆生温泉開発100周年記念事業実行委員会<申し込み・問合せ先> 皆生温泉エリア経営実行委員会事務局(米子市観光課)  
電話:0859-23-5211 FAX:0859-23-5598 MAIL:kanko@city.yonago.lg.jp

◆基調講演

「100年前から最先端! まち歩きしやすい皆生温泉」  
株式会社設計領域 代表取締役 吉谷 崇

◆パネルディスカッション

「開発100周年から次の100年に向けて」

伊坂 明 皆生温泉エリア経営実行委員会会長(株式会社皆生グランドホテル)  
山下 裕子 まちなか広場研究所 主宰  
吉谷 崇 株式会社設計領域 代表取締役  
坂内 和孝 皆生温泉エリア経営実行委員会副会長(皆生温泉観光株式会社)  
吉田 輝子 キミトデザインスタジオ  
伊木 隆司 米子市長